

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】平成19年8月2日(2007.8.2)

【公開番号】特開2006-42924(P2006-42924A)  
 【公開日】平成18年2月16日(2006.2.16)  
 【年通号数】公開・登録公報2006-007  
 【出願番号】特願2004-224724(P2004-224724)  
 【国際特許分類】

**A 6 1 F 13/15 (2006.01)**

**A 6 1 F 13/494 (2006.01)**

**A 6 1 F 13/49 (2006.01)**

【F I】

A 4 1 B 13/02 K

A 4 1 B 13/02 G

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月14日(2007.6.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

好ましい実施態様のさらにまた他の一つにおいては、前記第1シートが熱可塑性合成繊維で形成された不織布であり、前記抑制する手段が、前記不織布を部分的に溶融固化させてなるフィルム状の部分である。

好ましい実施態様のさらにまた他の一つにおいては、前記抑制する手段が、前記前後に向かって規則的な起伏を繰り返すひだである。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

請求項2乃至6の態様の発明によれば、第1シートの変形を抑制する手段として、第1シートに対してこれとは別体のシート片がおむつの前後方向へ間欠的に接合すること、第1シートに対しておむつの幅方向へ延びるホットメルト接着剤の塗布域をおむつの前後方向へ間欠的に形成すること、第1シートに対しておむつの前後方向へ規則的な起伏を繰り返す複数のひだを形成することが挙げられる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

かかる構成のおむつ1において、内面シート22は、透液性かつ非伸縮性の不織布、織布、開孔プラスチックフィルム等のシートで形成される。外面シート23は、不透液性、より好ましくは不透液性かつ通気性の織布、不織布、プラスチックフィルム等のシートで形成される。弾性帯片48には、天然ゴムや合成ゴムの帯片であって、2~20mmの幅

を有するものが使用される。フロント帯片 28 とリア帯片 29 とは、伸長状態にある弾性帯片 48 の影響で前後胴周り域 7, 8 が横方向 X へ縮むことを防ぐために必要に応じて使用されるもので、坪量 30 ~ 400 g/m<sup>2</sup> の不織布、柔軟にして弾性を有する発泡プラスチックシート等によって形成される。内面シート 22 における透孔 26 の寸法は、おむつの大きさにもよるが、幅 W が 10 ~ 70 mm であって、長さがおむつ着用者の肛門から尿道口にまで延びていることが好ましい。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

図 3 は、図 1 の I I I - I I I 線に沿って切断された内面シート 22 の端面を示す図である。内面シート 22 の非肌当接面 47 に取り付けられた帯状の剛性化シート片 51 は、おむつ 1 の横方向 X における寸法が側縁 3 から弾性帯片 48 までの距離よりも小さく（図 1 参照）、前後方向 Y に 2 ~ 20 mm の寸法を有する織布、不織布、プラスチックフィルム、柔軟にして弾性を有する発泡プラスチックシート等のシート片で作ることができる。隣り合う剛性化シート片 51 の前後方向 Y における間隔は 2 ~ 50 mm であることが好ましい。